

岡山県中世城館跡総合調査報告書 正誤表

第1冊－備前編－

頁	位置	誤	正
177	第65図		(別紙と差し替え)
184	第74図		(別紙と差し替え)
207	9行目	ある(文献32・116など註)	ある <sup>註</sup>
286	タイトルのルビ	こやま	とやま
317	8～10行目	本報告書には軍記類の目録も掲出されると思われるので、その目録にしたがって各自で掲載書を読書されることをおすすめする。	(削除)

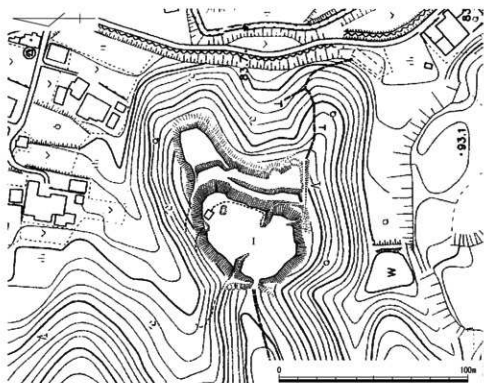
第2冊－備中編－

頁	位置	誤	正
目次	12行目	4 備中国中世城館跡一覧表	4 備中国不明中世城館跡一覧表
53	上半分	加賀郡	賀陽郡
85	城館番号159の城館跡名	尾根小屋跡	御根小屋跡
87	城館番号183の城館跡名	青除城跡	青蔭城跡
94	城館番号313の所在地	片島	片島町
100	城館番号423の城館跡名	庚申山陣城跡	庚申山陣跡
100	城館番号428の所在地	岡山市北区新庄下	岡山市北区新庄下・倉敷市矢部・総社市宿
126	2行目	前者	後者
144	下段タイトルの住所	後者	前者
164	タイトルのルビ	蚊屋	蚊家
181	下段タイトルの住所	きやま	おにやま
250	タイトルの城館跡名	中津井	上中津井
272	下段タイトルの住所	小管城跡	小管城跡
281	タイトルの住所	上高末	上高末・下高末
352	タイトルの住所	里山田	南山田
358	第266図キャプション	矢柄	連島町矢柄
397	タイトルの住所	野山跡	野山城跡
408	タイトルの住所	岡山市北区高松田	岡山市北区高松田中
452	タイトルの住所	岡山市北区足守	岡山市北区下足守
452	タイトルの住所	岡山市北区新庄下	岡山市北区新庄下・倉敷市矢部・総社市宿
457	8～10行目	本報告書には軍記類の目録も掲出されると思われるので、その目録にしたがって各自で掲載書を読書されることをおすすめする。	(削除)
457	25行目	1,100	1100
457	26行目	1,650	1650
457	27行目	1,655	1655
458	4行目	今のところ中世・毛利氏段階	近世初頭の小堀氏段階
541	第366図表	津宇郡	都宇郡
542	1行目	津宇郡	都宇郡
546	17行目	<都宇郡>	<都宇郡>
報告書抄録	中・下段の左側(2か所)	岡山県美作地域所在の城館跡等409か所	岡山県備中地域所在の城館跡等442か所

第3冊－美作編－

頁	位置	誤	正
469	8～10行目	本報告書には軍記類の目録も掲出されると思われるので、その目録にしたがって各自で掲載書を読書されることをおすすめする。	(削除)
469	25行目	1,100	1100
469	26行目	1,650	1650
469	27行目	1,655	1655
470	4行目	今のところ中世・毛利氏段階	近世初頭の小堀氏段階

頁	位置	誤	正
470	29 行目		合字「より」については英小文字「y」に置き換えて示した。(追加)
477	史料番号 81 の内容	上記 498 と同じ	上記 80 と同じ
488	史料番号 184 の西暦	(空白)	1580 年
490	史料番号 216 の内容	上記史料 214	上記史料 215
491	史料番号 221 の内容	上記史料 219	上記史料 220
491	史料番号 226 の内容	上記史料 224	上記史料 225
501	史料番号 316 の該当部分原文	備作一着#〔之〕上以真島郡#〔内〕	備作一着〔○異本：之〕上以真島郡〔○異本：内〕
502	史料番号 317 の内容	上記史料 1120	上記史料 316
502	史料番号 321 の作成者名	→西尾与九郎	(削除)
502	史料番号 322 の作成者名	→立石孫一郎	(削除)
503	史料番号 333 の作成者名	→立石孫市郎	(削除)
503	史料番号 335 の該当部分原文	旁#〔々〕以調儀、…無二#〔之〕覚悟	旁〔○異本：々〕以調儀、…無二〔○異本：之〕覚悟
503	史料番号 336 の作成者名	→西尾与九郎	(削除)
503	史料番号 337 の文献番号		109 (追加)
503	史料番号 339 の作成者名	→西尾与九郎	(削除)
503	史料番号 340 の作成者名	→立石孫市郎	(削除)
505	史料番号 361 の作成者名	→立石孫一郎	(削除)
508	史料番号 377 の該当部分原文	…御大慶中(繰り返し記号)可申儀も無之候、…とても(繰り返し記号)不成儀候(繰り返し記号)	…御大慶中\可申儀も無之候、…とても\不成儀候\
509	史料番号 387 の作成者名	→西尾左兵衛	(削除)
509	史料番号 388 の作成者名	→立石右兵衛尉	(削除)
509	史料番号 391 の作成者名	→立石右兵衛尉	(削除)
509	史料番号 393 の作成者名	→立石右兵衛尉	(削除)
511	史料番号 3 の城館名		(削除)
517	史料番号 45 の該当部分原文	(繰り返し記号)こめをかかれ候処二、吉川・小早川衆罷出せめ申こと(繰り返し記号)	\こめをかかれ候処二、吉川・小早川衆罷出せめ申こと\
518	史料番号 49 の該当部分原文		御用二罷立衆 (中略) 備中新山 大草又右衛門尉 (中略) 作州寺畑 朝枝源次 宮山 少阿弥 祝山 塩屋佐介
519	史料番号 50 の該当部分原文	ひた(繰り返し記号)	ひた\
519	史料番号 50 の城館名	鹿ヶ城(番号なし 高城跡)	鹿ヶ城(240 高城跡)
520	史料番号 57 の年月日	天正八~九年	天正七~九年
520	史料番号 57 の西暦	1580~1581 年	1579~1581 年
520	史料番号 60 の該当部分原文	然共やう(繰り返し記号)	然共やう\
521	史料番号 62 の文献番号		28 (追加)
521	史料番号 67 の年月日覧	~十年ごろ()	~十年ごろ(慶長十五年十一月十六日)
521	史料番号 67 の西暦	~82 年ごろ	~82 年ごろ(1610 年)
521	史料番号 68 の年月日	~十年ごろ()	~十年ごろ(慶長十五年十一月十六日)
521	史料番号 68 の西暦	~82 年ごろ()	~82 年ごろ(1610 年)
522	史料番号 73 の作成者名	→前原休閑	(削除)
522	史料番号 74 の作成者名	→前原休閑	(削除)
523	史料番号 77 の文献番号		28 (追加)
523	史料番号 79 の文献番号		28 (追加)
524	番号 46 の文献名	『増訂織田信長文書の研究補遺・索引』谷本進「鳥取城攻め太閤ヶ平本陣群の検討(『鳥取城調査研究年報』5号)	『増訂織田信長文書の研究補遺・索引』
524	番号 109 を新設し、文献名に追加する		谷本進「鳥取城攻め太閤ヶ平本陣群の検討(『鳥取城調査研究年報』5号)



第 65 図 西谷城跡縄張り図 (1/2,000) 作図：畑和良



第 74 図 瀬ノ城跡縄張り図 (1/2,000) 作図：畑和良

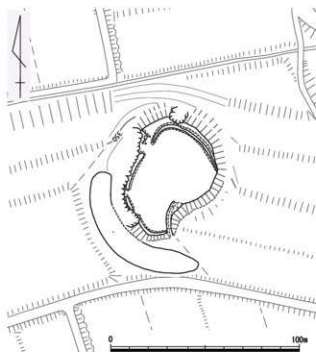
まるやま  
追加 丸山城跡 吉備中央町吉川

地図 19 左

**立地** 丸山城跡は独立丘陵の頂部に位置する。西側約360mに近世大山道が南北に通る。

**概要** 丸山城跡は平面瓢形の単郭城館であり、北・西・南側端部に土塁が巡る。北側は土塁の外側に幅2～3m程度の平坦面が形成され、周囲は切岸で守る。西裾部には丸山城跡を取り巻くように弧状の水田が認められ、堀の跡地と評価されている。この水田の最大幅は12m程度である。『吉川誌』によると「田地開拓とともに南方は掘り崩されて形をかえ北方は急傾斜となつ」（124頁）たという。

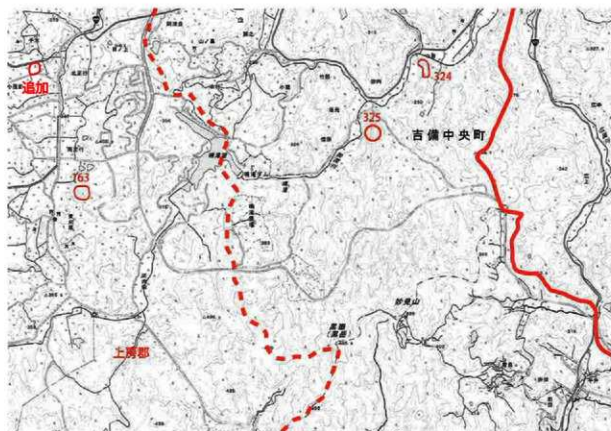
**文献・伝承** 虎倉城落城とともに伊賀久隆が吉川に落ち、その子孫の刑部が姓を吉川に改め、その子の吉川新右衛門が修築して居に定めたという伝承がある。（上梅）



丸山城跡縄張り図 (1/2,000)

(P85 と P103 に追加)

城館跡名	旧郡	所在地	位置	立地	標高 (m)	比高 (m)	城域	現況	概要	遺構の評価	残存状況
丸山城跡	上房	国賀郡吉備中央町吉川	北緯 34° 49' 55" 東経 133° 45' 2"	頂部	350	5	東西 80 m 南北 90 m	山林・水田	曲輪・土塁を確認。	○	一部損壊



丸山城跡位置図<地図19左(P46)の上部>